

科名：建築施工システム技術科

| 訓練科目の区分 | | 授業科目名 | 必須・選択 | 開講時期 | 単位 | 時間/週 |
|--|----------|-------------------------|-----------|-------|--------|------|
| 教育訓練課程 | 応用課程 | 安全衛生管理実習 | 必須 | I・II期 | 2 | 2 |
| 教科の区分 | 専攻実技 | | | | | |
| 教科の科目 | 安全衛生管理実習 | | | | | |
| 担当教員 | | 内線電話番号 | 電子メールアドレス | | 教室・実習場 | |
| 授業科目に対応する業界・仕事・技術 | | | | | | |
| 総合建設業における施工管理業務 工務店(住宅)における施工管理業務 設計事務所における生産管理業務 | | | | | | |
| 授業科目の訓練目標 | | | | | | |
| 授業科目の目標 | No | 授業科目のポイント | | | | |
| 建設施工管理作業において安全衛生法に基づく安全、衛生及び作業環境についての管理並び玉がけ、クレーン、フォークリフト等の特別教育について学びます。 | ① | 安全衛生管理体制、安全衛生について知っている。 | | | | |
| | ② | 建設労働災害の現況について知っている。 | | | | |
| | ③ | 労働災害と企業責任について知っている。 | | | | |
| | ④ | 施工計画時の安全衛生の確保について知っている。 | | | | |
| | ⑤ | 危険予知活動やヒヤリハットについて知っている。 | | | | |
| | ⑥ | 足場組立て・解体の安全作業について知っている。 | | | | |
| | ⑦ | 玉がけの安全作業について知っている。 | | | | |
| | ⑧ | クレーン操作における安全作業を知っている。 | | | | |
| | ⑨ | フォークリフトの安全作業を知っている。 | | | | |
| | ⑩ | 救急処置の方法を知っている。 | | | | |

| 授業科目受講に向けた助言 | |
|--------------|--|
| 予備知識・技能技術 | 建築施工実習で習得した基本的な機器、器工を用いた作業及びその安全対策について整理することにより、安全作業の重要性を再確認しておくことが大切となります。 |
| 授業科目についての助言 | 建築生産現場における施工管理項目のうち、安全衛生管理は最も重要な項目です。そこでこの科目では、建築生産現場を意識した中で、安全衛生管理の手法を理解することにより、各標準課題、開発課題等の課題実習における安全対策が実践できることを目標とします。なお、この科目は原則として、学科の安全衛生管理と関連付けて実施することとします。そして学科と実技の両面から理解を深めることにより、日常的に安全衛生管理の実践ができるようになることを目指します。 |
| 教科書および参考書(例) | 参考書：労働安全衛生規則実務便覧(労働調査会) |
| 授業科目の発展性 | <pre> graph LR A[施工法詳論] --- B[安全衛生管理] C[設備施工管理] --- B B --- D[安全衛生管理実習] B --- E[施工実習(標準課題)] D --- E F[施工関係法規] --- B style D fill:#f96 style E stroke-dasharray: 5 5 </pre> |

| 評価の割合 | | | | | | | | |
|---------|--------------|----|------|------|-----|------|-----|----|
| 指標・評価割合 | 評価方法 | 試験 | 小テスト | レポート | 制作物 | 成果発表 | その他 | 合計 |
| | | 40 | 40 | | | | | |
| 評価割合 | 授業内容の理解度 | 40 | 40 | | | | | |
| | 技能・技術の習得度 | | | | | | | |
| | コミュニケーション能力 | | | | | | | |
| | プレゼンテーション能力 | | | | | | | |
| | 論理的な思考力、推論能力 | | | | | | | |
| | 取り組む姿勢・意欲 | | | | | | 20 | |
| | 主体性・協調性 | | | | | | | |

| 回数 | 訓練の内容 | 運営方法 | 訓練課題 予習・復習 |
|-----|-------------------------------------|-------|--------------------------------|
| 1週 | 安全衛生一般:建設労働災害の現況、労働災害と企業責任、安全衛生管理体制 | 講義 | 安全衛生の基本知識を調べてください。 |
| 2週 | 災害防止の知識:安全衛生教育、危険予知訓練、ヒヤリハット | 講義、演習 | 危険予知訓練、ヒヤリハットの演習します。 |
| 3週 | 玉がけ作業の特別教育(実技) | 講義 | 安全衛生法と安全衛生規則を理解します。 |
| 4週 | 玉がけ作業の特別教育(実技) | 実習 | 足場の組立て作業を通して危険予知やヒヤリハットを理解します。 |
| 5週 | 玉がけ作業の特別教育(実技) | 実習 | 足場の解体作業を通して危険予知やヒヤリハットを理解します。 |
| 6週 | 玉がけ作業の特別教育(実技) | 実習 | 特別教育の実技を行います。 |
| 7週 | 足場作業の安全衛生法と安全衛生規則 | 実習 | 特別教育の実技を行います。 |
| 8週 | 足場の組立て作業 | 実習 | 特別教育の実技を行います。 |
| 9週 | 足場の解体作業 | 実習 | 特別教育の実技を行います。 |
| 10週 | クレーン作業の特別教育(実技) | 実習 | 特別教育の実技を行います。 |
| 11週 | クレーン作業の特別教育(実技) | 実習 | 特別教育の実技を行います。 |
| 12週 | クレーン作業の特別教育(実技) | 実習 | 救急処置(AED)の使用法を行います。 |
| 13週 | フォークリフト運転作業の特別教育(実技) | 実習 | 特別教育の実技を行います。 |
| 14週 | フォークリフト運転作業の特別教育(実技) | 実習 | 特別教育の実技を行います。 |
| 15週 | 救急処置法 | 実習 | 特別教育の実技を行います。 |
| 16週 | フォークリフト運転作業の特別教育(実技) | 実習 | 特別教育の実技を行います。 |
| 17週 | フォークリフト運転作業の特別教育(実技) | 実習 | 特別教育の実技を行います。 |
| 18週 | まとめ・確認テスト | 実習 | 最終のまとめを行います。 |

注: 本科目は、安全衛生管理と関連づけて実施します